

令和7年度 堀江中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	255	53	47	5.5	7.4
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
理科	503
学校	503
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

令和7年度 堀江中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果

【成果と課題】

国語科は平均正答率は53で、対全国平均との差が-1.3(対全国比0.98)という結果となり、全国平均を上回ることはできなかった。しかし、平均無回答率は対全国平均との差が-1.2であり各問い合わせてあきらめることなく取り組んでいる姿勢はうかがえる。

内容別においても、すべての項目で全国平均を下回る正答率であった。一方、問題形式別では、選択式で対全国平均との差が+0.2とわずかに上回ったものの、記述式では対全国平均との差が-4.2と大幅に下回るなど、課題があきらかとなつた。

数学科は平均正答率は47で、対全国平均との差が-1.3(対全国比0.97)という結果となり、全国平均を上回ることはできなかった。平均無回答率においては対全国平均との差が-3.2で、国語科同様あきらめることなく各問い合わせてあきらめることなく取り組んでいる。

内容別、問題形式別では、唯一図形に関する領域で対全国平均との差が+1.3で上回ることができた。とはいえ、数と式の領域で対全国平均との差が-3.1、データ活用の領域で対全国平均との差が-3.8であり、課題の残る結果となつた。

理科は本年度、学習用端末を用いた文部科学省CBTシステムによるオンライン方式で実施した。そのため、全国で実施日が数日間設定されており、数種類の問題を解答することが起こることから、IRTスコア(異なる試験や調査結果を同じ尺度で比較するもので、500を基準にした得点で表すもの)で比較することとなつた。本校の平均IRTスコアは503であり、全国平均のIRTスコアと同等の結果であった(対全国比1.00)。

分布においてもほぼ、全国の平均と同様であった。大阪府の平均スコア(489)に対しては大きく上回る結果であった。

【今後に向けて】

調査の分析結果を共有するとともに、各教科において課題の解消に向けた、授業での実践につなげていく。加えて、今後も規律ある授業展開を確立するとともに、基礎学力の定着をはかっていきたい。また、校内研究授業、相互授業参観、若手研修会等、様々な研修を通して、教員の授業力向上に努めていく。

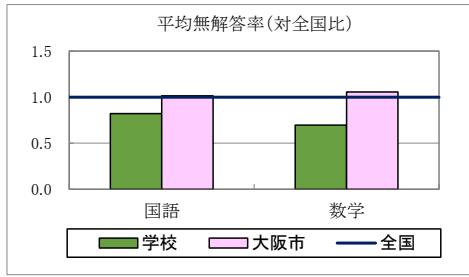
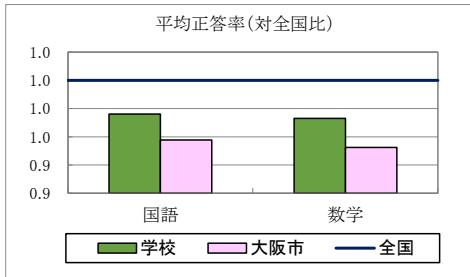
令和7年度 堀江中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【全 体】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	53	47
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

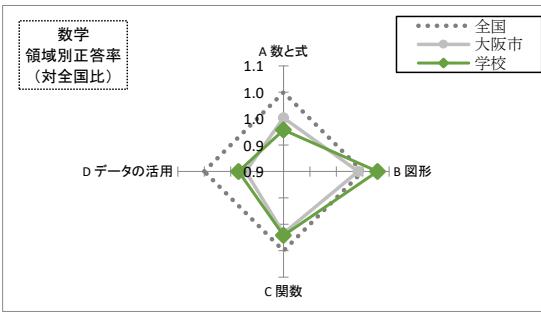
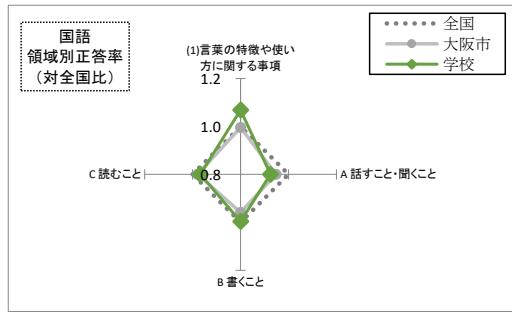
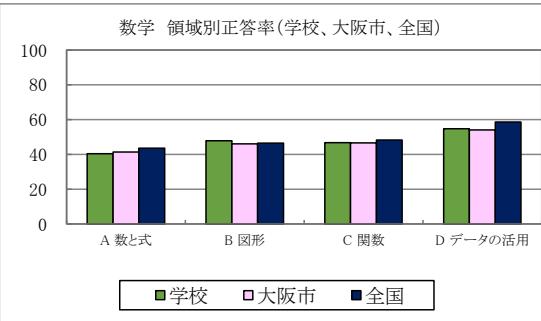
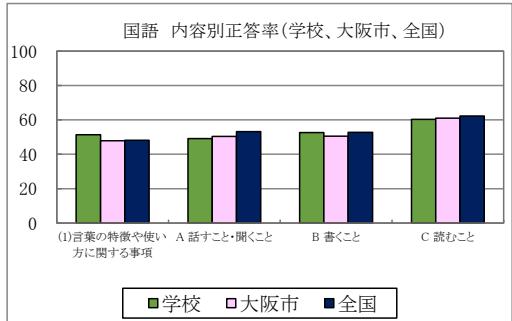
平均無解答率(%)	
国語	数学
5.5	7.4
6.8	11.2
6.7	10.6



【国 語】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	2	51.4	47.9	48.1
(2)情報の扱い方にに関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	49.2	50.4	53.2
B 書くこと	5	52.6	50.6	52.8
C 読むこと	3	60.3	61.0	62.3

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	40.4	41.4	43.5
B 図形	4	47.8	46.1	46.5
C 関数	3	46.8	46.6	48.2
D データの活用	3	54.8	54.0	58.6

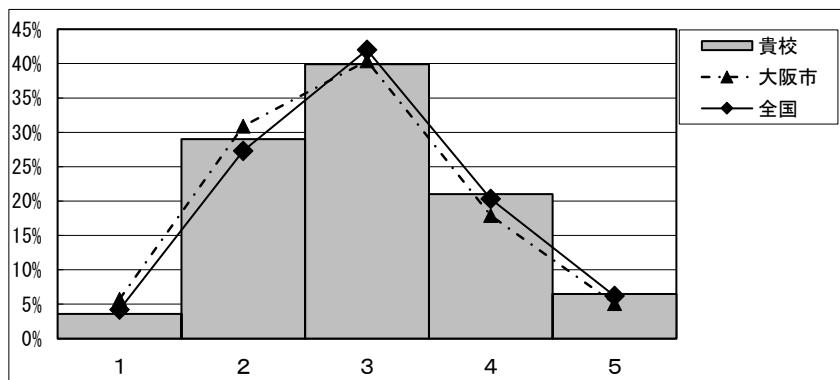
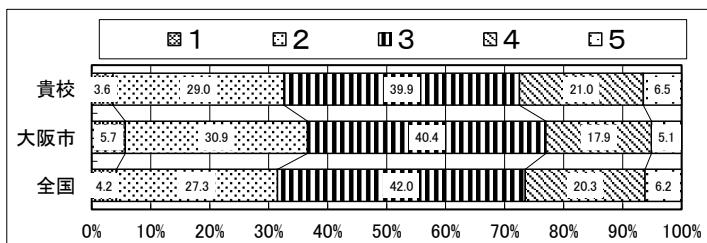


令和7年度 堀江中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	503
大阪市	489
全国	503



令和7年度 堀江中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

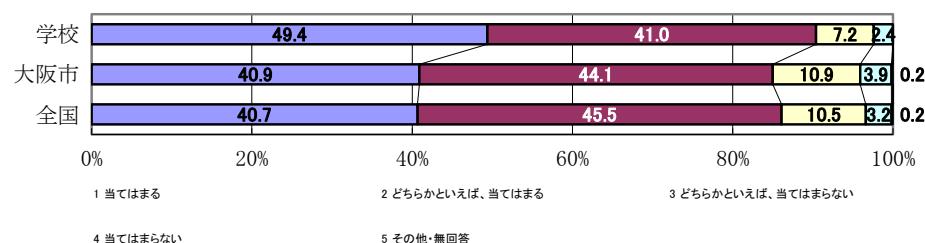
生徒質問より

■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8

質問番号
質問事項

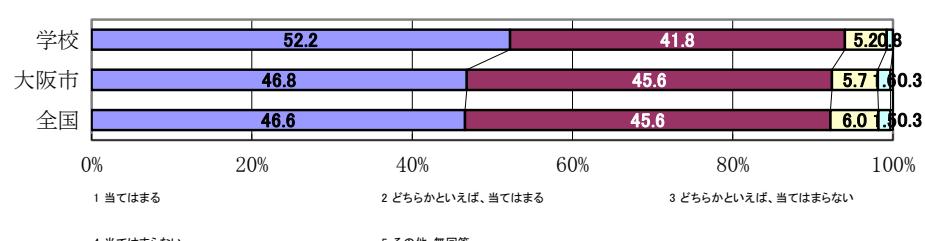
5

自分には、よいところがあると思いますか



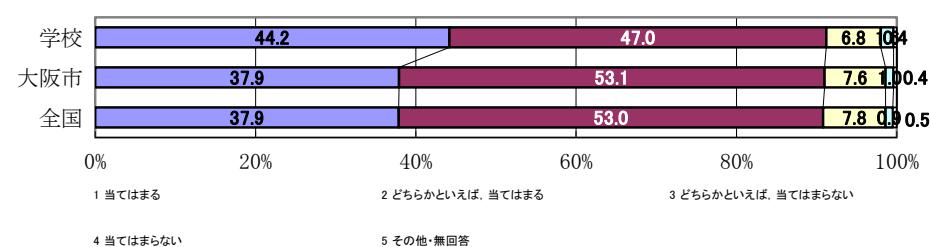
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



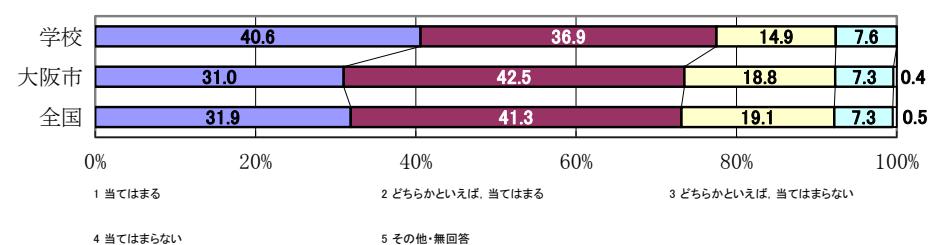
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



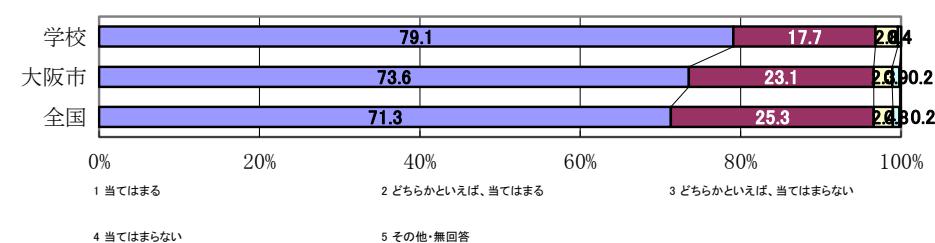
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



令和7年度 堀江中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

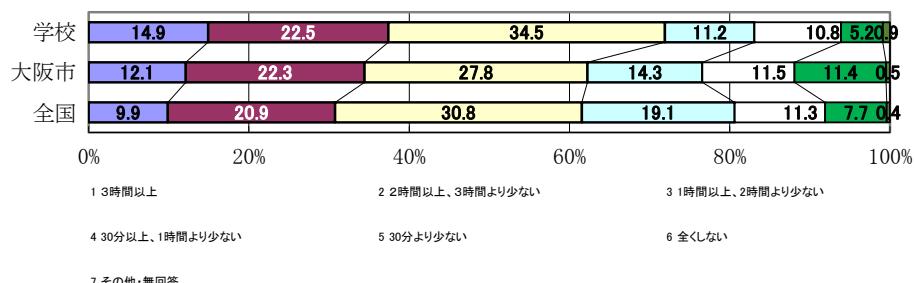
生徒質問より

■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8

質問番号
質問事項

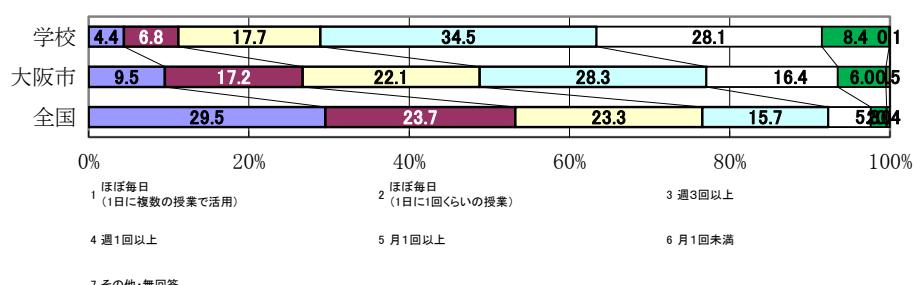
17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



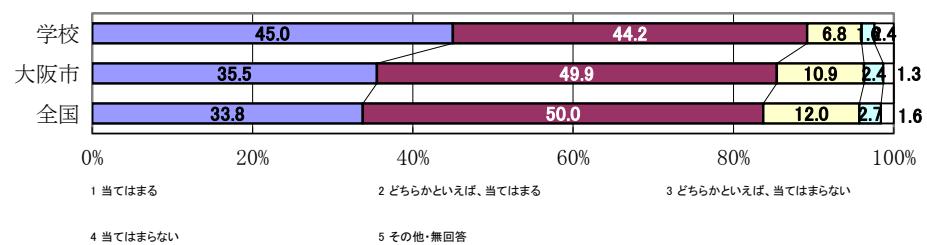
28

1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



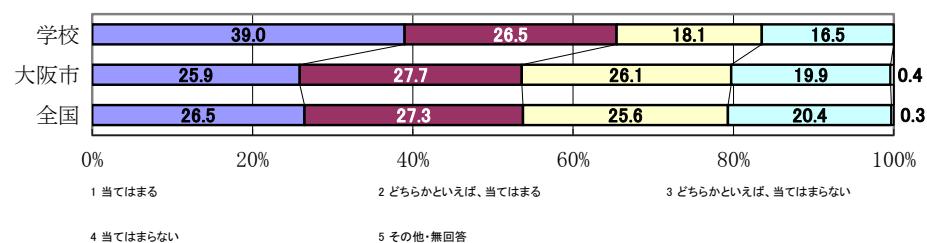
38

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



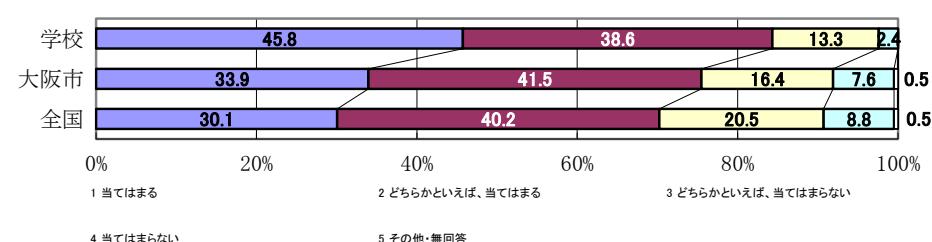
53

数学の勉強は好きですか



54

数学の授業の内容はよく分かりますか



令和7年度 堀江中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

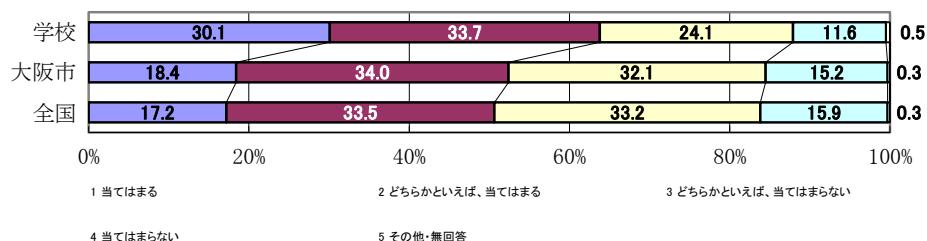
生徒質問より

■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8

質問番号
質問事項

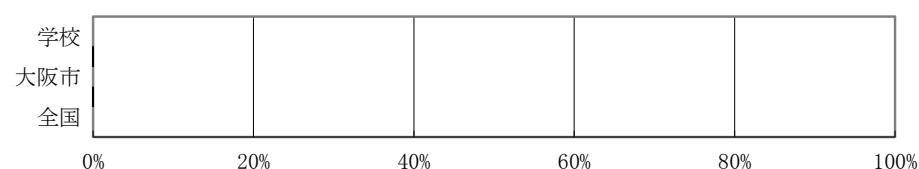
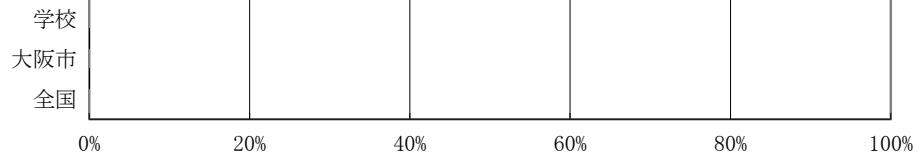
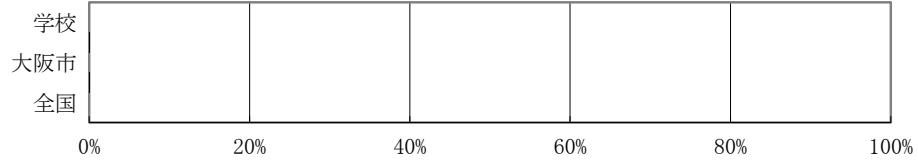
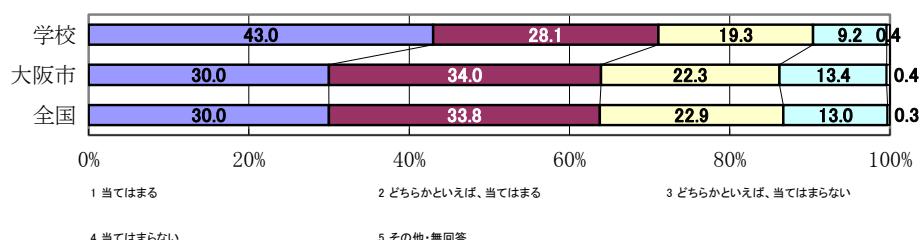
60

理科の勉強は得意ですか



61

理科の勉強は好きですか



令和7年度 堀江中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

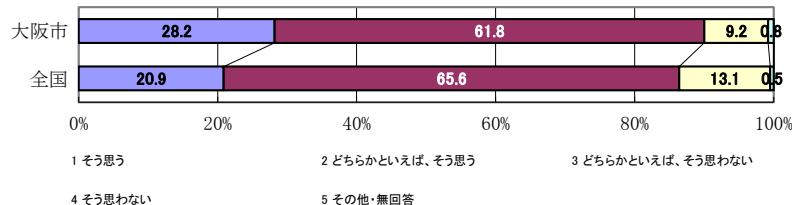
■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8 ■ 9 ■ 10

質問番号
質問事項

7

調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いませんか

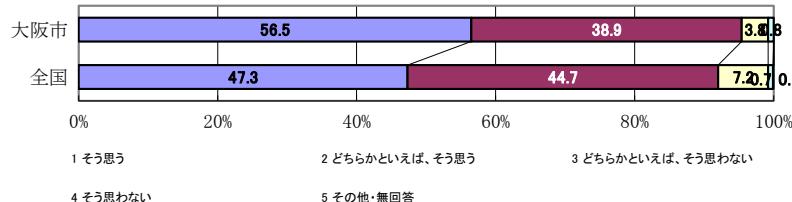
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



8

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

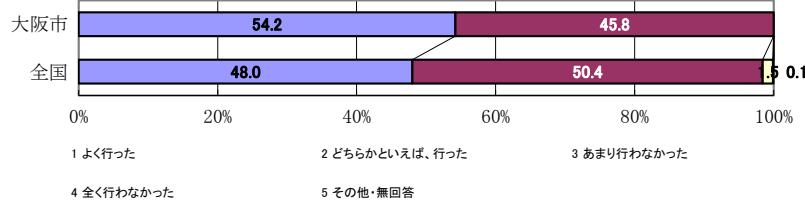
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



9

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

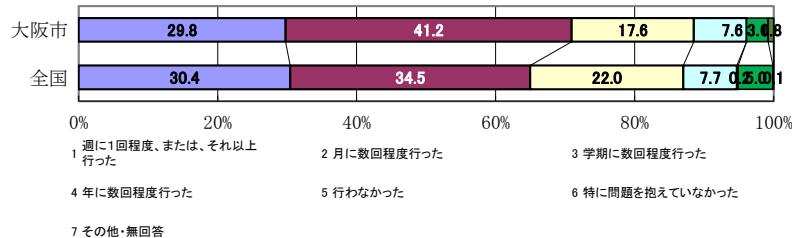
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



11

前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

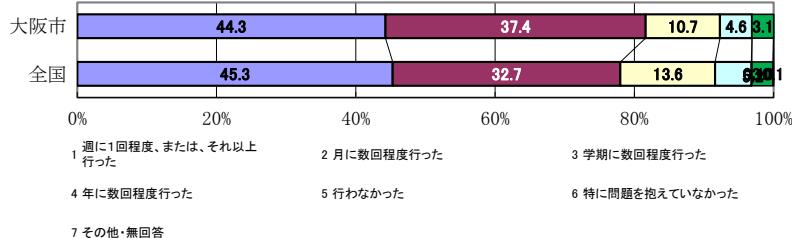
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



12

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



令和7年度 堀江中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

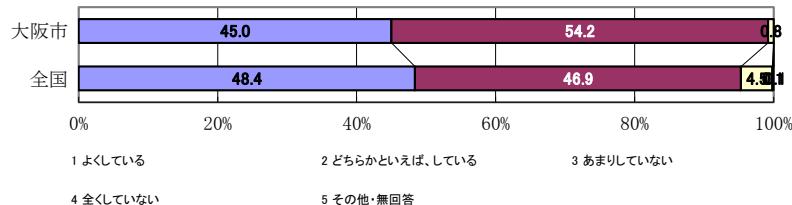
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

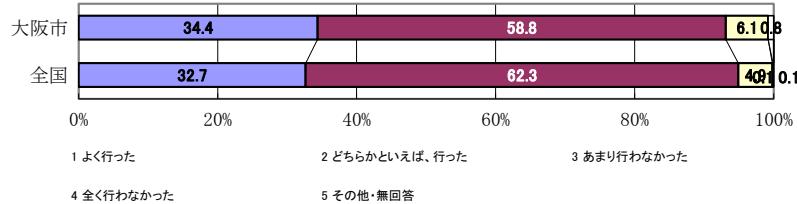
学校 「どちらかといえば、している」を選択



31

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習指導において、生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

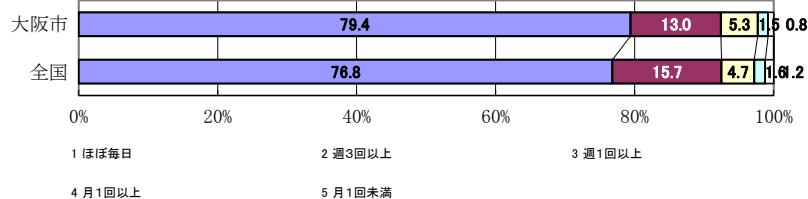
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



55

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

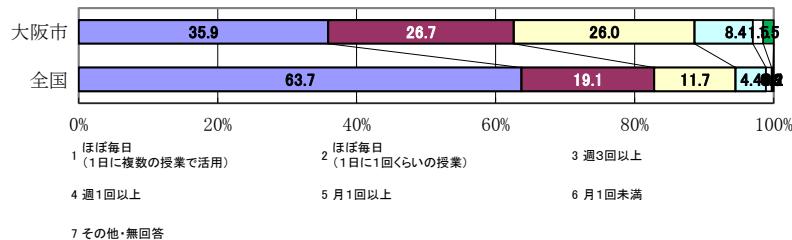
学校 「ほぼ毎日」を選択



58

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

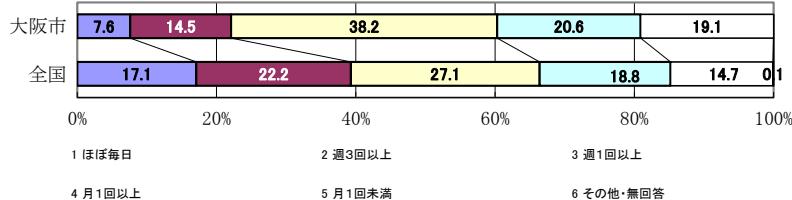
学校 「週3回以上」を選択



62

調査対象学年の生徒同士がやりとりする場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

学校 「月1回未満」を選択



令和7年度 堀江中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

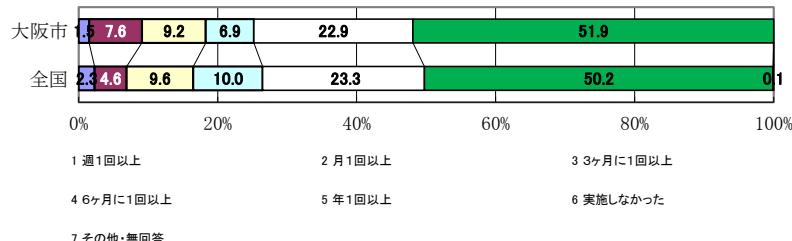
■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8 ■ 9 ■ 10

質問番号
質問事項

64

前年度に、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、生徒が学校外の施設(他の学校や社会教育施設、民間企業等)にいる人とやりとりする取組をどの程度実施しましたか

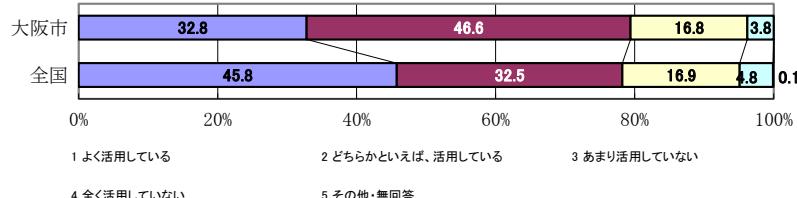
学校 「実施しなかった」を選択



65

教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか

学校 「よく活用している」を選択



67_1

生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(1)不登校生徒に対する学習活動等の支援((67-2)の授業配信を含む)

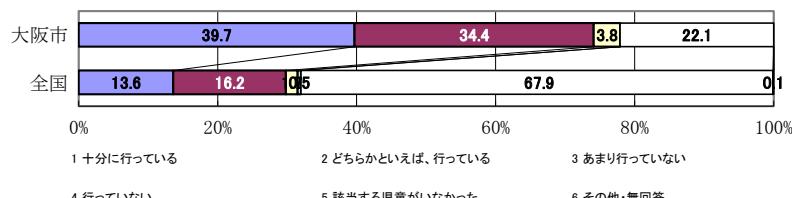
学校 「ほぼ毎日」を選択



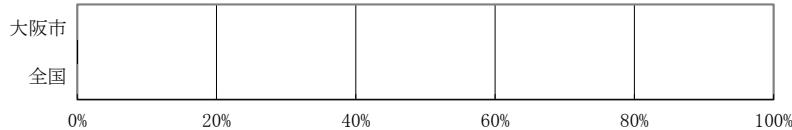
71

学校では、調査対象学年の生徒のうち、日本語指導が必要な生徒に対して、特別な配慮に基づく指導をどの程度行っていますか

学校 「十分に行っている」を選択



学校 「」を選択



令和7年度 堀江中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

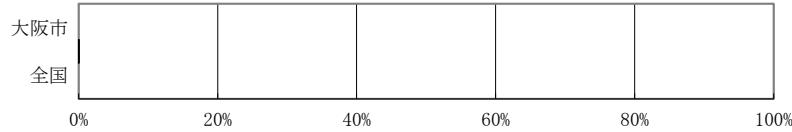
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

学校 「」を選択



学校 「」を選択



学校 「」を選択



学校 「」を選択



学校 「」を選択

